

さあ春! お出かけください

環境サロン 身近な環境問題などをテーマに、みんなで気軽に学びあい、語りあう環境サロンも、本年度のシリーズはもうすぐ終了です。本年度の集大成、合同報告会へもぜひいらしてください。

3月5日(木) 18:30~ 里山の保全と再生シリーズ 第8回

## 「里海再生の取組」

~東岐波小学校のコミュニティスクールの実践例~

お 話: 寿恵村泰生さん (東岐波里海再生の会)  
と ころ: まちなか環境学習館  
参加費: 200円 (エコ八券2枚進呈)

東岐波小学校では、地元の里海の会の方々を中心に、4年生全員が海に出て、松の植樹をしたり、干潟への湧水量の測定をしたり、大変興味深いコミュニティスクール(CS)の実践がすでに行われています。全市に先駆けた取組をお聞きして、広い意味での環境学習(ESD)を含めたCSの可能性について話し合います。



ちょっと行ってみよう

## まちなかエコ市場

楽しく学んでまちを元気に!

3月15日(日) 10:00~15:00

今回のステージは二胡、サクソ、和太鼓、アフリカ太鼓……など様々な楽器も登場します。

新鮮野菜やお米、花の苗などをたっぷり乗せた里山軽トラ市。和・洋スイーツや手作り雑貨、フリマのブースも楽しみです。前回は大人気の子育てグッズリユースコーナーもありますよ。

環境関連の展示では虫の標本を見たり、スライムを作ったり。まちなかエコ教室もありますよ。

ぜひ遊びに来てくださいね。



宇部市まちなか環境学習館「銀天エコプラザ」には、環境関連図書もある無料の学習室、使いやすい料金のミーティングルーム(大・小)があります。お気軽にご利用、ご見学、お問合せください。

## 環境サロン合同報告会

3月14日(土) 13:30~17:10

と ころ: 宇部市総合福祉会館

前半第一部は、今年度の「世代間・地域対話」「里山の保全と再生」「低炭素のまちづくり」のシリーズ各8回、全24回の環境サロンを通じて、何が得られたのか、成果の要約をまとめて報告します。

特別講演

## 「未来をひらく子ども達の“生きる力”を育む」

講師: 菊池省三さん

(北九州市小倉中央小学校教諭、「菊池道場」主宰、文部科学省『熟議』に基づく教育政策形成の在り方に関する懇談会)委員)

後半第二部は、小学校の現役の先生であり、「ほめ言葉のシャワー」で有名な菊池省三先生をお招きし、特別講演をいただきます。子ども達に、コミュニケーション力をつけ、自信を持たせ、未来を創る力を育てるにはどうしたらいいか、また地域がそれにどう関われるのかについても考えたいと思います。

参加料は無料です(エコ八券2枚進呈)。ご参加をお待ちします。

## まちなか銀天おそうじ隊募集!

「まちなか銀天おそうじ隊」は、月に一度、まちなか環境学習館周辺や銀天街アーケードなどを掃除しています。メンバーはその日集まってくださった方。楽しくおしゃべりしながら、「まち」をちょっときれいにしませんか? 次回は3月29日(日) 15時から。まちなか環境学習館前に集合です。

参加者には、環境地域通貨「エコ八券」2枚進呈!

宇部市環境学習ポータルサイト

## 「うべっくる」



うべっくる  検索

<http://www.ubekuru.com>

宇部市のいろいろな環境学習拠点の紹介、環境関連のイベントのお知らせなど、随時更新しています。「銀天エコプラザ」の詳しい紹介もあります。

facebook や Twitter へもこちらからアクセスできます。

まちなか環境学習館や環境に関することについて、ご意見・ご質問等、お気軽にお寄せください。ポータルサイト内の問い合わせ欄やブログ、フェイスブックのコメント欄もご利用ください。

3月1日(1954年)

### 第五福竜丸事件が発生

1954年1月22日、静岡県焼津港から23名の船員が乗り組んだ1隻のマグロ漁船が南太平洋の漁場に向かって出港した。船名は第五福竜丸、もともとカツオ漁船の第七事代丸として1947年に和歌山県で新造された全長約29m、140トン余りの木造帆船であるがその後遠洋漁業が解禁になり、この船も焼津市の船主のもとに買い取られてマグロ漁船として改造され船名も第五福竜丸と命名されたものである。

出港後、船は目的の漁場であるミッドウェー海域で操業していたが、不漁が続き、漁場を求めてマーシャル諸島へと向かった。しかしそこでも不漁が続き、少しの漁獲物とともに帰路についていた。

そして3月1日ビキニ島の北西160km付近を航行していた、午前3時50分ごろ、南西の水平線からオレンジ色の巨大な炎が天空を焦がした。9分後にはすざましい轟音が船を包んだ。すでに夜は明けているはずであるが、異様な雲団気が空を覆って

いた。それからじわじわと海が荒れ始め、午前8時頃には風と雨と波が船を包んだ。雨の中には後に死の灰といわれるサンゴ礁の破片を含んでおり、それは鋭く肌を刺した。それからいつしか空全体を墨を混ぜたようなどす黒い雲がおおい東に向かって流れて行った。

この異変の正体は3月1日から5月14日にかけてアメリカがマーシャル諸島のビキニ環礁・エニウェトク環礁で実施した「キヤッスル作戦」という計6回の水爆実験であった。この水爆実験では第五福竜丸だけではなく当時海域に出ていた約1,000隻の日本の漁船や貨物船が被爆した。

第五福竜丸船上では被爆後2日目から乗員達に異変がおこり、顔色が変色し、髪が抜けたり頭痛、吐き気、目まい、下痢等の症状が出た。船は米軍の動きを警戒しながらゆっくり日本に向けて航海し、3月14日未明に母港の焼津に帰港した。

被災した船員は直ちに治療を受けることになり、そのうちの2名は東大病院に、そしてこのニュースは全国に広まった。水揚げされたマグロからは放射能が検出され「原爆マグロ」と言われ多くの魚が廃棄された。被災した船員は回復に向かったがその中の一人、久保山愛吉さんは放射線障害

がもとで半年後の9月23日死亡した。40歳であった。

急速に広がった反核運動にあわてたアメリカと日本政府はこの事件の幕引きを図り、翌年アメリカが日本政府に200万ドルの見舞金を払うことでこの事件を収束させてしまった。

政府はこの海域で水揚げされたマグロの放射線検査もこの年の末で打ち切ってしまう、その後は野放し状態になった。

その後は原子力の平和利用、原発の推進といった官民一体になった宣伝は原水爆の恐ろしさ、放射能の影響を打ち消し、約1,000隻の幅広い被爆の実態は闇にほうむられたまま、それどころか第五福竜丸そのものも急速に世間の目から消えてしまった。

その後の情報公開で得られた資料の中には第五福竜丸よりも被害が大きく出た船もいくつか見られた。そして多くの船員が若くして亡くなりその事実は闇に葬られてしまった。

かろうじて第五福竜丸はその後、東京の夢の島に放置されているのを発見され永久保存の手段がとられて今に至っている。

(館長 西村誠)

### 買い物をするときに……

日々くり返すお買い物。何をかうか、どんなものを選ぶかということで、こんなものを買ってほしいよ、作ってほしいよというメッセージを伝えることができます。環境に配慮した商品を選ぶことで、市場や社会が変わります。

環境に優しい消費者「グリーンコンシューマー」という考え方は1980年代にイギリスではじまり、1990年代ごろから日本でも広がったようです。

今だからこそ、改めて見直したいグリーンコンシューマーという考え方。右に挙げた「グリーンコンシューマー10則」と言われるものを全部考慮して買い物をするのはなかなか難しいですが、頭の片隅に入れながら、ちょっと素敵な未来へ向かって進めたらと思います。(F)

買う人も、作る人も、地球もうれしい  
買い物ができたらいいな～♪

### グリーンコンシューマー10則

1 必要なものを  
必要なだけ  
買う

2 使い捨て  
商品ではなく、  
長く使えるもの  
を選ぶ

3 容器や包装はない  
ものを優先し、  
次に最小限のもの、  
容器は再使用できる  
ものを選ぶ

4 作る時、買うとき、  
捨てるときに、資源  
とエネルギー消費の  
少ないものを選ぶ

6 自然と生物多様性を  
そこなわないものを選ぶ

7 近くで生産・製造され  
たものを選ぶ

8 作る人に公正な  
分配が保証され  
るものを選ぶ

10 環境問題に熱心  
に取り組み、環境  
情報を公開して  
いるメーカーや  
店を選ぶ

9 リサイクルされたもの、  
リサイクルシステムの  
あるものを選ぶ

参考:グリーンコンシューマーに関してのおすすめ本  
『グリーンコンシューマー 世界をエコにする買い物のススメ』 すぎ本育生著



### 宇部市まちなか環境学習館 銀天エコプラザ

〒755-0045 山口県宇部市中央町二丁目11番21号

交通手段 JR宇部線:「宇部新川駅」徒歩7分

宇部市営バス:「宇部中央バス停」徒歩3分

駐車場 無し (近隣の有料駐車場等をご利用ください)

TEL/FAX 0836-39-8110

E-mail info@ubekuru.com

開館時間 9時～21時

休館日 毎週火曜日、年末年始(12月29日～1月3日)